



88140114



JAPANESE A: LITERATURE – HIGHER LEVEL – PAPER 2
JAPONAIS A : LITTÉRATURE – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 2
JAPONÉS A: LITERATURA – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 2

Tuesday 11 November 2014 (afternoon)

Mardi 11 novembre 2014 (après-midi)

Martes 11 de noviembre de 2014 (tarde)

2 hours / 2 heures / 2 horas

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Answer one essay question only. You must base your answer on at least two of the Part 3 works you have studied and compare and contrast these works in response to the question. Answers which are not based on a discussion of at least two Part 3 works will not score high marks.
- You are not permitted to bring copies of the works you have studied into the examination room.
- The maximum mark for this examination paper is *[25 marks]*.

INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- Traitez un seul sujet de composition. En basant votre réponse sur au moins deux des œuvres de la troisième partie que vous avez étudiées, vous devez comparer et opposer ces œuvres dans le cadre du sujet. Les réponses qui ne sont pas basées sur au moins deux des œuvres de la troisième partie n'obtiendront pas une note élevée.
- Vous n'êtes pas autorisé(e) à apporter des exemplaires des œuvres que vous avez étudiées dans la salle d'examen.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est *[25 points]*.

INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- Conteste una sola pregunta de redacción. Base su respuesta en al menos dos de las obras estudiadas de la Parte 3, comparándolas y contrastándolas en relación con la pregunta. Las respuestas que no se basen en al menos dos obras de la Parte 3 no recibirán una puntuación alta.
- No está permitido traer copias de las obras estudiadas a la sala de examen.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es *[25 puntos]*.

次の問題から一つを選んで、エッセイ（小論文）を書きなさい。その際、授業で学習したPart 3（ジャンル別部門）の、**少なくとも二作品**に言及しなさい。Part 3の二作品を使用していない場合は減点となります。なお、エッセイを書くにあたっては、必ず作品を**比較対照**すること。

物語・小説

1. 物語や小説では、登場人物が愛情と友情との間で葛藤することがよくあります。あなたの学んだ作品においては、この葛藤はどのように使用され、どのような効果を生んでいましたか。少なくとも二作品を比較して答えなさい。
2. 主人公の家族構成は、作品において様々な役割を果たします。あなたの学んだ作品においては、主人公の家族構成はどのような方法で表現され、それはどんな効果を生んでいましたか。少なくとも二作品を比較して答えなさい。
3. 物語や小説では「伏線（後の方で述べる事柄をあらかじめ前の方でほのめかしておくもの）」が重要な役割を果たしていることが多くあります。この伏線にはどのような特色があり、どんな効果を生んでいましたか。学習した二作品以上を比較して論じなさい。

随筆・評論

4. 随筆や評論において、人生に対する作者の考え方はどのように表現されていますか。学習した二作品以上を比較し、例を挙げながら論じなさい。
5. 「随筆や評論を書くためには、想像力は必要ない」という考え方があります。これについて、学習した二作品以上を比較し、例を挙げながら論じなさい。
6. 作者は自己の考えを明確に伝えるために、作品の構成に様々な工夫を凝らします。あなたの学んだ作品では、どのような工夫が見られましたか。二作品以上を比較しながら論じなさい。

詩歌

7. 詩の形式には、定型詩や自由詩など種々のものがあります。作者はどのような理由で、特定の詩の形式を選択するのでしょうか。読者への効果も含めて、学習した二人以上の作品を比較しながら答えなさい。
8. 詩歌には季節が表現されることがよくあります。あなたの学んだ作品では、季節はどのように表現されていて、それは作品のテーマや構成とどのように結びついていましたか。二人以上の作品を比較し、考えるところを述べなさい。
9. 「詩歌は難解である」と考える人が多くいます。詩歌の持つどのような特色が、人々にこのような印象を与えているのだと思いますか。学習した二人以上の作品を比較し論じなさい。

戯曲

10. 戯曲では、登場人物が過去の自分と現在の自分とを比較することがよくあります。これはどのような役割を持ち、どんな効果を生んでいますか。学習した二作品以上を比較し論じなさい。
 11. 戯曲のクライマックスには作者の思いが込められています。あなたの学んだ作品において、クライマックスはどのような特色を持ち、どんな効果を生んでいましたか。二作品以上を比較しながら思うところを述べなさい。
 12. 登場人物が心の中で考えることと、その人の台詞（せりふ）の内容が異なることがあります。その違いはどのような役割を持ち、どんな効果を生んでいますか。二作品以上を比較しながら答えなさい。
-